



「SC マンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

市民協働のまちづくりで

子どもの安全を守ります

▼問合せ 地域教育課

セーフコミュニティの取り組みとして、子どもの安全対策委員会では

これまで安心・安全の学校づくりを目指して、「校内安全マップづくり」に取り組んできました。

「校内安全マップづくり」とは、子どもたちが自ら校内の危険箇所を調べ、全校児童にわかるように掲示し解決策を考える取り組みです。いくつかの学校で始まった取り組みが今では市内の全小・学校へと広がりました。この取り組みがWHO推奨のインターナショナルセーフスクールの取り組みにながっています。



子ども安全見守り隊

子どもたちの登下校中の安全を見守っていただく「子ども安全見守り隊」が市内すべての地域で活動しています。



松原東小学校の通学路を見守ってくださっている金城さんより

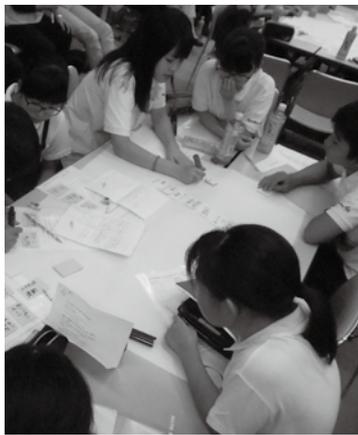
「6年前、民生児童委員をさせてもらうことになった時に子どもに関わりたいと思い、毎朝通学路で小学生にあいさつをしていました。その時に当時の校長先生に声をかけてもら

い活動を始めました。子どもは地域の宝物です。子どもたちが安全で安心して生き生きと過ごせる社会にしていきたいです」



だれもが安心できる安全な学校づくりのために

毎年、松原市地域教育協議会主催で市内の小中学校の児童会生徒会交流会が行われています。今年のテーマは「だれもが安心できる安全な学校づくりのために」。各校の取り組みを交流する中で、地域の皆さんとの交流や触れ合いが大切との意見がたくさん出ました。



わんわんパトロール隊活動も広がっています

今年からセーフコミュニティ子ども安全対策委員会に犬と人の福祉活動団体 Wan-One link 代表の仲川さんが委員として参加しています。

現在、市内には41組もの隊員さんがわんわんパトロール隊として活動し、登下校の時間に合わせて犬の散歩をしながら、子ども達の安全を見守ってくれています。代表の仲川さんは「多くの皆さんにわんわんパトロール隊について知ってほしい。犬も人も幸せになれる活動として今後も活動を広げていきたい」と話されていました。

